



カンテレコンサート

12.12 SAT

11:30 ~ / 15:30 ~

12.13 SUN

11:00 ~ / 14:00 ~

KARDEMIMMIT [カルデミンミット]

Maija Pokela(マイヤ・ポケラ) Anna Wegelius(アンナ・ヴェゲリウス)
Jutta Rahmel(ユッタ・ラーメル) Leeni Wegelius(レーニ・ヴェゲリウス)

VTR
出演

・Myötätuu / Tail Wind (追い風) 作詞:トリアディショナル、マイヤ・ポケラ 作曲:マイヤ・ポケラ
・Jouluyö, Juhlayö / Silent Night (きよこの夜) 作詞:トリアディショナル
編曲:カルデミンミット 作曲:フランツ・クサーヴァー・グルーバー
収録アルバム:Kesäyön Valo / Midnight Sun (白夜) 編曲:カルデミンミット

北欧フィンランドのフォークミュージックシーンで現在もっとも注目を集めている女性四人組のコーラス&カンテレユニット。結成当時のメンバーの年齢は8~10歳。今年で結成20周年を迎える実力派グループで、国内では数々の受賞歴を誇る。その演奏スタイルはフィンランドや北欧各国に伝わる伝統曲・詩をオリジナルの作・編曲で歌い奏でるもので、美しいコーラスハーモニーと現代的なアレンジが特徴。また、カンテレ演奏もシンプルな中に趣向が凝らされており、38弦のコンサートカンテレを主にベースとして使い、残りのメンバーが1~3台の15弦カンテレを多彩にあやつり演奏に深みを与えている。



カンテレ奏者 あらひろこ コンサート

演奏曲 ・トナカイの子守歌(マルティ・ポケラ) ・ガーディアン・エンジェル(フィンランドの讃美歌)
・クリスマス曲「私には富も名声もない」(シペリウス) ・最初のノエル ・ジングルベル ほか

フィンランドの伝統楽器カンテレの演奏者、コンポーザー。日本にまだカンテレがあまり知られていなかった1990年代初頭に5弦カンテレを弾き始め、94年フィンランドにて、Hannu Saha, Sinikka Kontioらの指導を受ける。以降、国内では数少ないカンテレ奏者として活動。オリジナルや即興、北欧の伝承曲などを中心に各地で演奏。2013年5月にフィンランドで開催された第2回国際カンテレコンペティション(アンサンブル対象)プロフェッショナル部門に、あらひろこと嵯峨治彦とのデュオ、RAUMAとして参加し、第二位と、マルティ・ポケラ賞を受賞。これまでに、Garden, Moon Drops, Birds and The Treeの三枚のソロアルバムを発表。



聴く人をそっと包みこむように魅了する
繊細な音色の
フィンランド民族楽器「カンテレ」

カンテレ(kantele)はフィンランドの民族楽器の一つで、ツィター属に属する撥弦楽器の一種です。フィンランドでは19世紀終わり頃から国の楽器と位置づけられ、民族叙事詩「カレワラ」の中にも登場しています。

もともとは1片の木をくりぬき、表面に5本の弦を張ったシンプルな作りでしたが、詩や踊りの伴奏楽器として、あるいはソロ楽器としての価値を追求する過程で次第に多弦化されていきました。現在では小さいもので5弦、大きいもので40弦のものがあり、同じ「カンテレ」でも、楽器本体が所持している弦の本数によって形状や音色が異なることも大きな特徴と言えます。

コンサート



オープニングセレモニー
佐賀女子高等学校合唱部
演奏曲 / ●スオミの歌 ●あなたを思う(フィンランド語)
午後の部
佐賀女子高等学校合唱部&女声合唱団ソレイユ
演奏曲 / ムーン・リバー他スクリーンミュージック

トークショー

12.12 SAT 14:30~

「世界一受けたい授業」のラウラ先生と学ぶフィンランドの暮らし



フィンランド大使館商務部
ファッション・
ライフスタイル担当
ラウラ・コピロウ



アンドフィーカ
(フィンレイソン日本総代理店)
代表
今泉 幸子

3回の日本留学を経験し、ヘルシンキの日本人向け旅行会社や、日本の大手IT企業での経歴をもつ。函館白百合学園高等学校に留学後、ヘルシンキ大学と早稲田大学で学び、北海道大学大学院法学研究科の博士号を取得。フィンランドのライフスタイル・インテリア・ファッション企業の日本でのビジネスをサポートし、フィンランドのライフスタイルを日本で広める活動も行っている。2020年3月放送「世界一受けたい授業」(日本テレビ系列)に「ラウラ先生」として出演。趣味はパフェ、ランニング、旅行、サウナも日課。

児童図書出版社で11年勤務。その後、複数社でキャラクターやブランドのライセンスに関わる。2006年スウェーデン人との出会いで2010年、株式会社プラスライセンス&デザインTOKYO設立。2014年、社名をアンドフィーカに改め、北欧に特化した国内唯一のライセンス会社代表として、デザインやテキスタイルブランドのブランディング、ライセンス業務を行っている。北欧と日本、デザインと自然、仕事と休息が大好きで、目指すゴールは、北欧と日本をデザインでつないでいくこと。

講演会

12.12 SAT 16:00~

自分らしく生きる
~男女平等、福祉、ワークライフバランス~



フィンランド大使館
報道・文化担当参事官
レーッタ・プロンタカネン

フィンランド南部のハメーンリンナ生まれ。戦争研究の修士号を取得後、長年、危機管理の報道や広報に携わる。2020年10月より現職。来日前は、ヘルシンキのフィンランド外務省コミュニケーション部にて、西欧とアジア全体を担当。コーヒー、読書、美術館巡り、サイクリングを愛し、サッカーと乗馬は長年の趣味。

トークショー

12.13 SUN 11:30~ フィンランドふしぎ発見!?~知られざるフィンランドの魅力を紹介~



フィンエア
西日本統括支店長
堀田 博之

山口県出身。1985年フィンランド航空日本支社入社。現在、大阪支店・福岡支店を統括する西日本統括支店長。35年にわたり航空営業と日本とフィンランドの観光、文化、経済の交流に努めている。



フィンランド大使館
商務部上席商務官
沼田 晃一

函館出身。カナダ観光局初代マーケティングマネージャー、ジェットスター東日本事業スタートアップなどの要職を経て2018年より現職。ツーリズムプロモーションの責任者。最近サウナとコーヒーを飲む回数が増えた。



フィンランド大使館
商務部職員
ノーラ・シロラ

世界サウナキャピタルタンペレ市出身。日本への留学後に地元タンペレ大学を卒業。2019年からフィンランド大使館商務部でフィンランドのプロモーション活動をしている。趣味は母国のお菓子作りとハイキング。

講演会

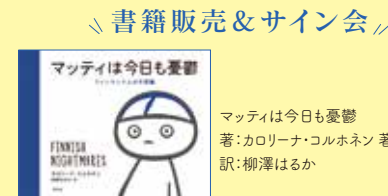
12.13 SUN 14:30~ フィンランドの人々と「SISU(シス)」から学んだ幸せの秘訣

翻訳者・ライター 柳澤 はるか

1985年生まれ、東京大学文学部卒。偶然訪れたフィンランドに魅せられ、2015年に会社員からライターに転身し、フィンランド文化の発信を始める。その後、フィンランドのベストセラーコミックとの出会いをきっかけに翻訳者としても活動。訳書に、『マッティは今日も憂鬱 フィンランド人の不思議』『マッティ、旅に出る。』『フィンランドの幸せメソッドSISU(シス)』(いずれも方丈社)。



フィンランドの幸せメソッド
SISUシス
著:カトヤ・パンツァル
訳:柳澤はるか



マッティは今日も憂鬱
著:カロリーナ・コルホネン 著
訳:柳澤はるか



マッティ、旅に出る。
一やぱり今日も憂鬱
著:カロリーナ・コルホネン 著
訳:柳澤はるか

書籍販売&サイン会

マッティシリーズをお買い上げの方にはオリジナルコースタープレゼント!

アバンセ1F展示ギャラリー

Finlayson
EST. 1820
200年の伝統と歴史を持つ
フィンランド最古のテキスタイルブランド
フィンレイソンのテキスタイル展示

Finlayson © Finlayson Oy

Finlayson × **HIZEN5**
フィンレイソン × HIZEN5
コラボ商品販売

やきもので作った
アクセサリや
文具を販売

※写真はイメージです。

北欧雑貨販売

Fika
NORRE PORT

※写真はイメージです。

MOON VALLEY PARK × **ARITA**
400 years of Japan's first porcelain

ムーミンバレーパーク限定販売の
有田焼商品の展示

@moomin_arita